



豊川市消防署

署内見学ガイドブック

2025年度版

見学日 年 月 日 曜日



2025年度 全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

豊川市消防本部の歴史

昭和23年3月15日

消防組織法の施行によって自治体消防になると同時に消防本部を設置

昭和29年12月1日

消防本部独立

昭和30年2月1日

消防署発足、消防長以下25名

昭和30年8月2日

消防本部新庁舎が市田町諏訪新畑47-17に完成

昭和33年12月1日

国府町流霞133に消防署西部出張所を開設

昭和37年3月1日

豊川町武通42に消防署東部連絡所を開設

昭和38年11月1日

消防用無線局開設

昭和41年1月31日

国府町上坊入45-1に西部出張所新庁舎が完成

昭和42年2月1日

消防長以下51名

昭和42年4月1日

東部連絡所を出張所に昇格

牛久保町大手56に南部連絡所を開設

昭和44年2月1日

東名高速道路の救急業務を開始

昭和53年3月10日

消防署新庁舎（現在の本署）が完成

昭和55年4月1日

南部連絡所を出張所に昇格、牛久保町城下12-1に新築移転

昭和56年4月1日

消防長以下100名

昭和56年10月1日

宝飯郡音羽町の消防事務受託業務開始

昭和57年3月15日

豊川町礼通19番地に東部出張所を新築移転

昭和57年4月1日

宝飯郡一宮町の消防事務受託業務開始

東部出張所が東分署に、西部出張所が西分署に昇格

昭和57年10月1日

宝飯郡小坂井町、宝飯郡御津町消防事務受託業務開始

昭和59年4月1日

宝飯郡御津町大字坪野字村崎89に御津出張所を開設

昭和60年4月1日

御油町行力19番地に西分署を新築移転

宝飯郡小坂井町大字小坂井字大堀2-1に小坂井出張所を開設

昭和61年4月1日



宝飯郡一宮町大字東上字松本90-1に一宮出張所を開設

平成4年4月1日

消防長以下151名

平成11年8月3日

救助活動中に職員1名殉職

平成16年10月1日

消防指令センター運用開始

平成18年2月1日

宝飯郡一宮町と合併

平成19年3月24日

豊川市一宮町豊1番地に一宮出張所を新築移転

平成19年4月1日

行政機構改革により、総務部防災対策課が消防本部へ移管される

平成19年7月2日

豊川市諏訪1丁目1番地（豊川市役所内）へ消防本部を移転

平成20年1月15日

宝飯郡音羽町及び御津町と合併

平成22年2月1日

宝飯郡小坂井町と合併

平成25年4月1日

御津出張所と小坂井出張所を統廃合し、御津町下佐脇野先52番4に南分署を新築すると同時に業務開始

平成26年3月31日

南部出張所を廃止

平成28年4月1日

行政機構改革により、防災対策課が企画部へ移管される

豊川市消防本部で初めて女性吏員が採用される

平成31年4月1日

行政機構改革により係制を廃止し、グループ制を導入



豊川市消防本部の現況

組織体制

1 本部、1 署、3 分署、1 出張所

職員数

191 名（うち女性5名）



豊川市消防本部が所有する車両台数

指揮車	1 台	タンク車	7 台	大型水槽車	3 台
はしご車	1 台	屈折はしご車	1 台	救助工作車	1 台
化学車	1 台	救急車	7 台	災害対策車	1 台
災害支援車	1 台	資材搬送車	1 台	広報連絡車	4 台
その他	16 台				

2024 年中の災害件数

火災件数・・・・・・38件

救急件数・・・・・・9501件

救助件数・・・・・・137件

警戒件数・・・・・・2040件（うち支援救急1795件）



消防署の勤務はどうなっているの？



消防署の勤務体制

毎日勤務者

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	休日	休日	仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	休日	休日	仕事	仕事	仕事	仕事	仕事	休日

※ 毎日勤務者とは、主に「消防長」「次長」「署長」「副署長」「分署長」「日勤警防・救急」「本部職員（総務課・予防課）」を示します。日勤者の「仕事」は8時30分～17時15分までです。

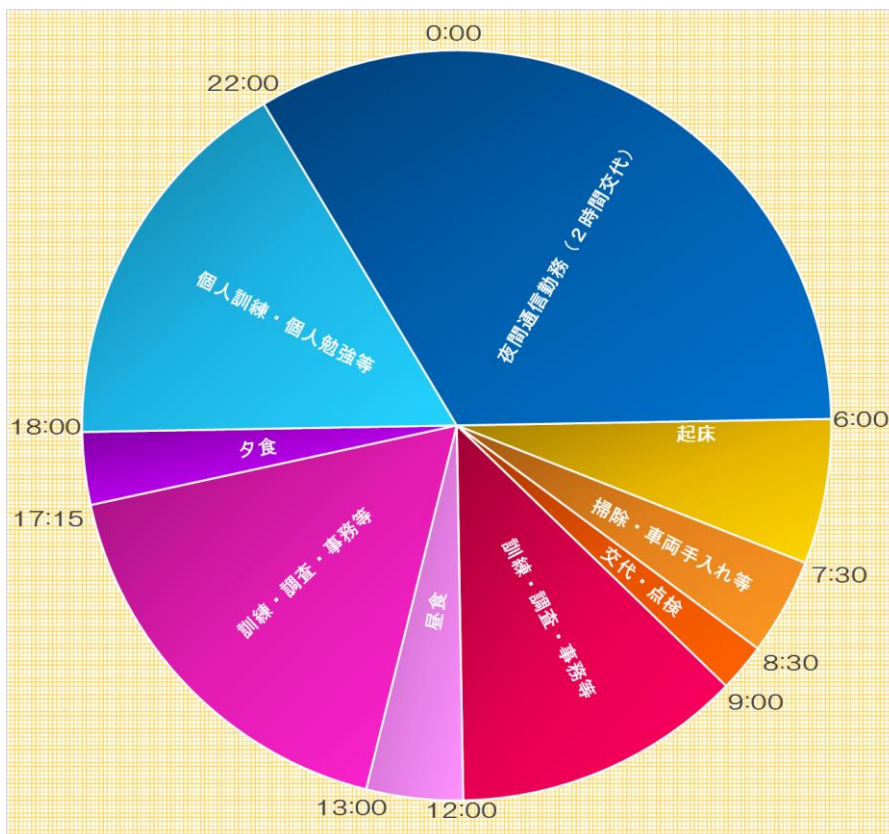
隔日（2交代）勤務者

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
仕事	非番日	仕事	非番日	仕事	非番日	休日	休日	仕事	非番日	仕事	非番日	仕事	非番日	休日	休日	仕事	非番日	仕事	非番日

※ 隔日（2交代）勤務者とは、主に「毎日勤務者以外の職員」を示します。

※ 非番日とは、休日と異なり休みではありません。非番日に突然呼び出される場合もあるため「自分の居るところを明確にしておく」必要があります。隔日勤務者の「仕事」は8時30分～翌日8時30分までです。

消防署の一日（24時間体制）

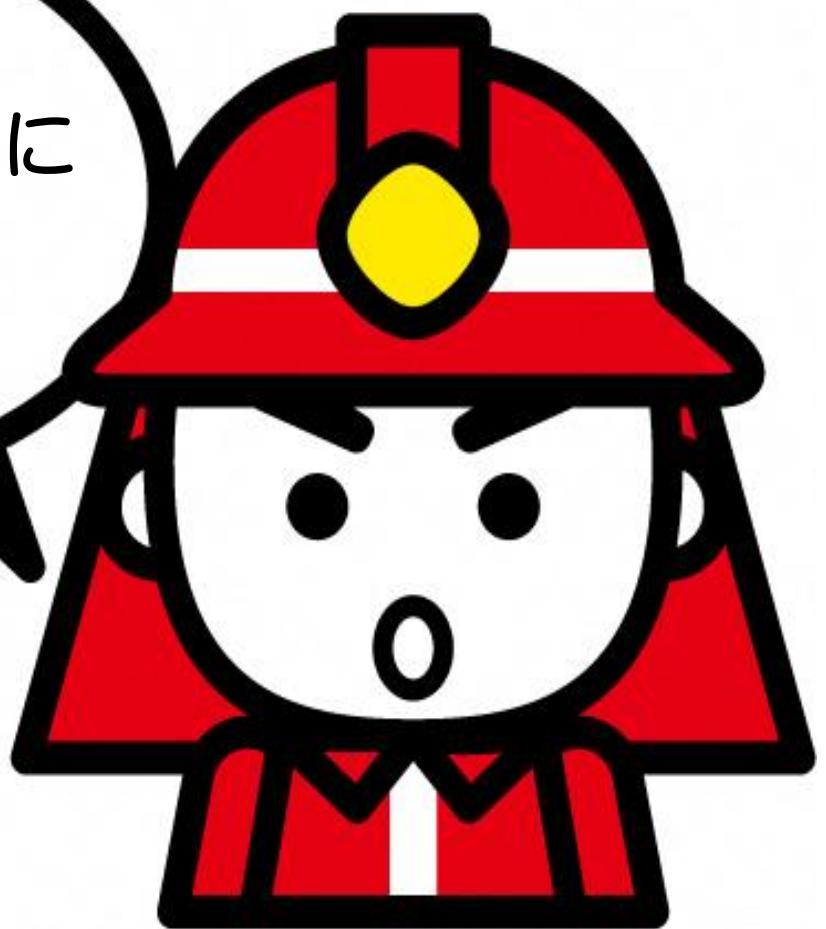


出動の指令が入った場合は、何をしても直ぐに出動します。



仮眠・休憩時間であっても出動します。

消防署はどこに
あるの？



消防本部



住 所：豊川市諏訪1丁目1番地（総務課、予防課）

豊橋市東松山町23番地（通信指令課）

職 員 数：消防長1名

消防次長2名（※1名 総務課長兼務）

総務課11名（※1名 消防次長兼務）

予防課13名

通信指令課7名



ポイント！

- 消防本部は市役所北庁舎5階にあるよ！
- 通信指令課は豊橋市消防署中署にあるよ！

本署



住 所：豊川市諏訪3丁目219番地

職 員 数：署長1名

副署長1名

日勤救急担当4名

日勤警防担当3名

第1担当27名

第2担当27名

配備車両：指揮車（とよかわ51）

タンク車1（とよかわ11）、タンク車2（とよかわ17）

大型水槽車（とよかわ21）

はしご車（とよかわ31）

救助工作車（とよかわ41）

災害支援車（とよかわ71）

査察広報車（とよかわ68）

消防連絡車（とよかわ69）

広報連絡車（とよかわ61）

救急車1（きゅうきゅうとよかわ7）

救急車2（きゅうきゅうとよかわ1）

救急車3（きゅうきゅうとよかわ8）



ポイント！

- ・鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積：3245.18㎡、延べ床面積2419.33㎡
- ・業務開始年月日：昭和53年3月10日
- ・（ ）の中は、各車両の無線呼称名
- ・本署にはタンク車や救急車以外に指揮車、救助工作車、はしご車があるよ！

東分署



住 所：豊川市大堀町108番地

職 員 数：分署長1名

第1担当13名

第2担当13名

配備車両：タンク車（とよかわ12）

大型水槽車（とよかわ22）

屈折はしご車（とよかわ32）

救急車（きゅうきゅうとよかわ2）

広報連絡車（とよかわ62）



ポイント！

- ・鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積：2017.30㎡、延べ床面積762.24㎡
- ・業務開始年月日：昭和57年3月15日
- ・東分署にはタンク車や救急車以外に屈折はしご車があるよ！

西分署



住 所：豊川市御油町行力19番地

職 員 数：分署長1名

第1担当13名

第2担当13名

配備車両：タンク車（とよかわ13）

大型水槽車（とよかわ23）

化学車（とよかわ93）

救急車（きゅうきゅうとよかわ3）

広報連絡車（とよかわ63）



ポイント！

- ・鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積：1984.45㎡、延べ床面積718.15㎡
- ・業務開始年月日：昭和60年3月30日
- ・西分署にはタンク車や救急車以外に化学車があるよ！

南分署



住 所：豊川市御津町下佐脇野先52番地4

職 員 数：分署長1名

第1担当13名

第2担当13名

配備車両：タンク車1（とよかわ14）、タンク車2（とよかわ15）

資材搬送車（とよかわ74）

災害対策車（とよかわ84）

救急車（きゅうきゅうとよかわ4）

広報連絡車（とよかわ64）



ポイント！

- ・鉄骨造2階建
- ・敷地面積：2937.58㎡、延べ床面積1157.95㎡
- ・業務開始年月日：平成25年3月8日
- ・南分署にはタンク車や救急車以外に災害対策車（ウニモグ）や潜水資器材を積載している資材搬送車があるよ！

一宮出張所



住 所：豊川市一宮町豊1番地

職 員 数：第1担当5名

第2担当5名

配備車両：タンク車（とよかわ16）

救急車（きゅうきゅうとよかわ6）



ポイント！

- ・鉄骨造2階建
- ・敷地面積：1084.29㎡、延べ床面積537.44㎡
- ・業務開始年月日：平成19年3月16日
- ・タンク車と救急車があるよ！

消防士はどんな服
装をしてるの？



本部職員（制服）



正 面



背 面

消防隊員（活動服）



正 面



背 面

消防隊員（防火服）



正 面



背 面

救助隊員（救助服）



正 面

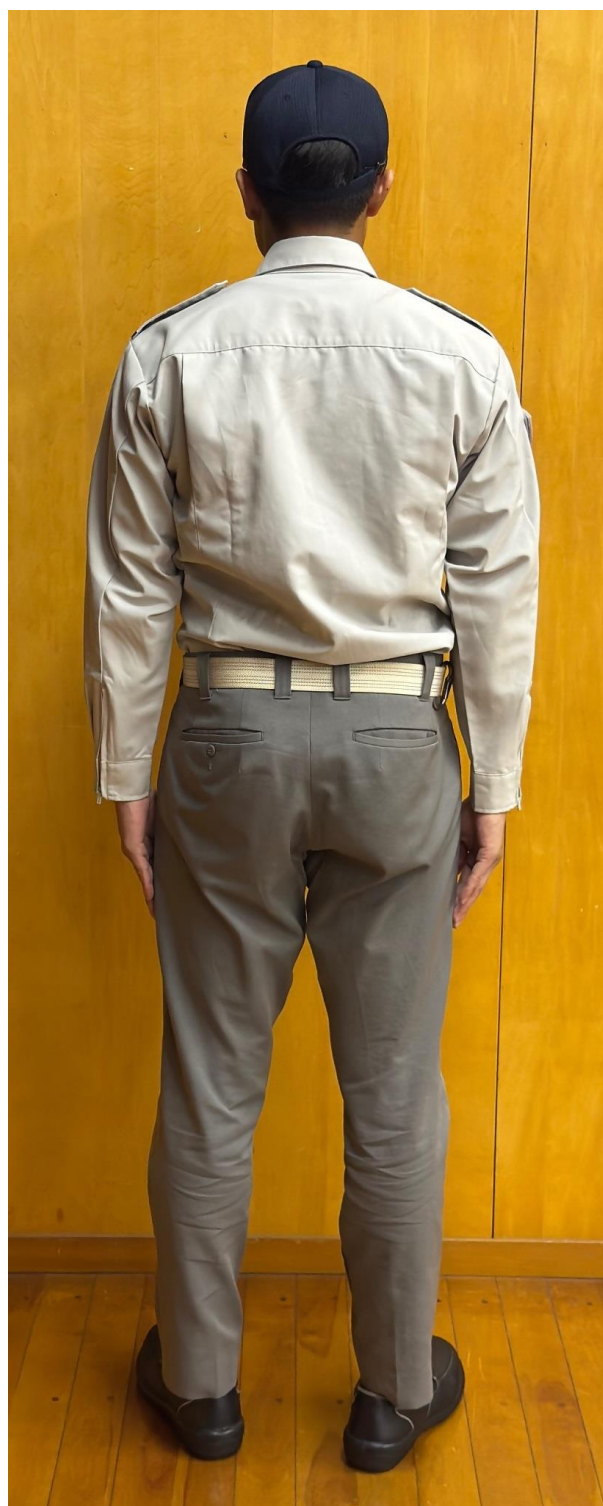


背 面

救急隊員（救急服）



正 面



背 面

音楽隊員（演奏服）



正 面



背 面

潜水隊（潜水服）



正 面



背 面

消防署にはどんな
車があるの？



指揮車



- 本署に1台配備
- 乗車定員は5名、乗車隊員は3名以上
- 長さ560cm、幅188cm、高さ249cm、車両総重量3175kg
- この車両は、大隊長が搭乗し、災害現場で消防隊を組織的かつ効果的に統制して、現場活動がスムーズに行われるように指揮をします。

タンク車



- 本署に2台、東分署に1台、西分署に1台、南分署に2台、一宮出張所に1台配備
- 乗車定員は6名、乗車隊員は4名以上
- 長さ694cm、幅233cm、高さ305cm、車両総重量9830kg
- この車両は、常時1500ℓの水が積載されており、周囲に水利がない場合でも、火災現場到着後すぐに放水することができます。

化学車



- 西分署に1台配備
- 乗車定員は5名、乗車隊員は4名以上
- 長さ687cm、幅230cm、高さ310cm、車両総重量10645kg
- この車両は、常時1500ℓの水と300ℓの泡原液が積載されており、水だけでは対応が困難な油火災にも対応することができます。

大型水槽車



- 本署に1台、東分署に1台、西分署に1台配備
- 乗車定員は3名、乗車隊員は2名以上
- 長さ904cm、幅249cm、高さ295cm、車両総重量21355kg
- この車両は、常時10000ℓの水が積載されており、消火栓や防火水槽が不足している地域、高速道路などの車両火災で活躍します。

救助工作車



- 本署に1台配備
- 乗車定員は5名、乗車隊員は3名以上
- 長さ785cm、幅230cm、高さ325cm、車両総重量11405kg
- この車両は、火災現場や交通事故現場等において、人を助けるための活動（救助活動）が安全で速やかに行えるよう、多くの救助資器材が積載されています。

はしご車



- 本署に1台配備
- 乗車定員は6名、乗車隊員は3名以上
- 長さ1070cm、幅249cm、高さ352cm、車両総重量20580kg
- この車両は、中高層建物における火災時などにおいて、建物内に残り残された人の救出や、高所から放水をすることができます。はしごは、地上から約41mの高さまでとどきます。

屈折はしご車



- 東分署に1台配備
- 乗車定員は6名、乗車隊員は3名以上
- 長さ900cm、幅249cm、高さ366cm、車両総重量16840kg
- この車両は、中高層建物における火災時などにおいて、建物内に残り残された人の救出や、高所から放水をすることができます。屈折はしごは、展開しながら地上から約25mの高さまでとどきます。

災害対策車（ウニモグ）



- 南分署に1台配備
- 乗車定員は2名、乗車隊員は2名以上
- 長さ620cm、幅240cm、高さ330cm、車両総重量7940kg
- この車両は、登坂角度45度、横転限界角度38度、水中走行可能深度120cmという優れた走破性能があります。通常の消防車が走行できない場所でも出動します。

災害対策車



- 本署に1台配備
- 乗車定員は6名、乗車隊員は2名以上
- 長さ470cm、幅169cm、高さ222cm、車両総重量3380kg
- この車両は、積載重量1000kgのトラック型です。除染テントやエアートtent等の大型資器材を災害現場まで搬送します。

資材搬送車



- 南分署に1台配備
- 乗車定員は3名、乗車隊員は2名以上
- 長さ692cm、幅218cm、高さ290cm、車両総重量7015kg
- この車両は、積載重量3000kgの幌付き平ボディ型トラックです。ウェットスーツや空気ポンプ等の潜水救助隊が使用する資器材を水難救助現場まで搬送します。

広報連絡車



- 本署に1台、東分署に1台、西分署に1台、南分署に1台配備
- 乗車定員は7名、乗車隊員は1名以上
- 長さ463cm、幅169cm、高さ180cm、車両総重量1825kg
- この車両は、事業所や学校などで行われる避難訓練や救命講習、火災予防のための立入検査など、様々な用途に使用されます。

高規格救急車



- 本署に2台、東分署に1台、西分署に1台、南分署に1台、一宮出張所に1台配備
- 乗車定員は7名、乗車隊員は3名以上
- 長さ565cm、幅189cm、高さ250cm、車両総重量3195kg
- この車両は、国家資格を有する救急救命士が搭乗し、怪我をした人や病気の人の観察や処置をしながら病院へ搬送します。

消防署にはどんな
資器材があるの？



消防隊の使用資器材



筒先



- この器具は、消防隊が放水する時にホースの先につけるものです。筒先の先端部分（ノズル）を回転させることで、水のかたちを「直状（ストレート）」や「噴霧状（フォグ）」に切り換えることができます。

ホース



- この器具は、消防車から火災現場まで水を送る（送水）ものです。長さは20メートル、太さ（直径）は40ミリ、50ミリ、65ミリの3種類があり、火災現場の状況や火災の状態等により使い分けています。ホースの両端には接続するための金具がついており、その金具を結合させることでホースを延長するも可能です。

空気呼吸器



- この器具は、煙や有毒なガスが発生し、呼吸することが困難な場所へ消防隊が進入する時に使用するものです。ボンベの中には空気が入っており、最大で約20分間の現場活動が可能です。現場活動が長時間になる場合は、ボンベを交換して対応します。

エンジンカッター



- この器具は、高速で回る刃により金属等を切断するものです。建物の扉やシャッター等が開けられず中に入れない時に使用します。刃を交換することで、金属だけでなくコンクリートや石材等も切断することができます。

救助隊の使用資器材



油圧式救助器具（カッター、スプレッダー）



- この器具は、油圧で作動します。カッター（写真左側）で切断、スプレッダー（写真中央）で展開や押し潰しを行い、障害物を除去します。カッターの最大切断力は95トン、スプレッダーの最大展開力は21.9トン、最大押し潰し力は8.5トンもあります。

マット型空気ジャッキ



- この器具は、リフティングバッグ（四角形のゴム袋）に高圧の空気を注入して膨らませ、重量物を持ち上げるものです。リフティングバッグの大きさで持ち上げることができる重さは異なりますが、最大では68トンの重量物を持ち上げることができます。

ダイヤモンドチェーンソー



- この器具は、高速で回る刃（チェーン）にダイヤモンドが取り付けられており、通常のチェーンソーでは切断することができない鉄筋コンクリート、コンクリートブロック、レンガ、岩石等を切断するものです。

陽圧換気送風機



- この器具は、ファン（羽根）を高速で回転させることにより、閉鎖された空間に充満している煙やガス等を排除又は拡散するものです。耐火構造建物（マンション等）での火災時や有毒ガスが発生している災害現場で使用します。

救急隊の使用資器材



AED



- この器具は、心臓が「けいれん」をおこし、血液を流すためのポンプ機能が失われた時に、電氣的刺激を与えて正常なリズム（状態）に戻すためのものです。

ストレッチャー



- この器具は、傷病者を病院へ搬送する時に使用するベッドです。救急隊員の活動内容や、傷病者の容態にあわせて高さや姿勢を変えることができます。

車載モニター

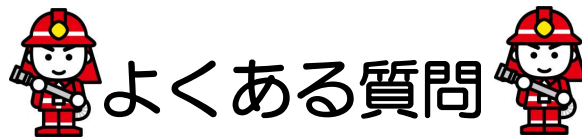


- この器具は、傷病者の体の状態（脈拍、血圧、血中酸素飽和度、心電図）を観察するものです。救急車に積載してあるので、病院への搬送中も観察を続けることができます。

吸引器



- この器具は、傷病者の口の奥に食べ物等が詰まってしまった時に、口や鼻からチューブを入れて、詰まっているものを吸い出すものです。



よくある質問

1 消防署の仕事について

- 【Q1】 どうして消防士になったの？
【A1】 人の役に立つ仕事がしたいと思ったからです。
【Q2】 仕事は何時から何時までですか？
【A2】 ガイドブックの6ページをみてください。
【Q3】 消防署では何人の人が働いているの？
【A3】 ガイドブックの4ページ、8ページから14ページをみてください。
【Q4】 1年間で火事や救急は何件あるの？
【A4】 ガイドブックの4ページをみてください。
【Q5】 出勤が無い時は何をしてるの？
【A5】 訓練や事務仕事、資器材の点検や建物の調査等をしています。

2 消防車や救急車について

- 【Q1】 消防署には何台の車があるの？
【A1】 ガイドブックの4ページ、8ページから14ページをみてください。
【Q2】 消防署にはどんな車があるの？
【A2】 ガイドブックの21ページから24ページをみてください。
【Q3】 消防車はどうして赤色なの？
【A3】 明治時代、外国から輸入した蒸気ポンプ自動車が赤色だったためです。また、赤色から炎を連想し「火事には気をつけよう！」と注意をひくこともできるからです。
【Q4】 救急車はどうして白色なの？
【A4】 昭和9年、日本赤十字で使った日本初の救急車が白色だったためです。
【Q5】 救急車に貼ってある蛇のステッカーは何を表しているの？
【A5】 スターオブライフという生命の輝きを表したマークです。中心に描かれた蛇の巻きついている杖は、ギリシア神話に登場する名医アスクレピオスが持っていた杖をデザインしたものです。
【Q6】 消防車や救急車の時速は？
【A6】 消防車や救急車でも制限速度があります。緊急出動時の最高速度は、一般道で時速80km、高速道路で時速100kmと決められています。なお、緊急出動時以外の制限速度は一般車両と同じです。

3 その他

- 【Q1】 消防署のマークは何を表しているの？
【A1】 雪の結晶をモデルとして、これに筒先や筒先から出る水柱を配置したものです。なお、雪の結晶は団結や純潔を意味しています。
【Q2】 防火衣に着替えるのにかかる時間は？
【A2】 出勤するのに1分を目標に訓練しています。
【Q3】 出勤する時は「すべり棒」で車庫に行くの？
【A3】 「すべり棒」はありません。迅速、安全に階段で車庫に向かいます。

4 消防署で質問したいこと

- 【Q1】 ※ 消防署で質問したいことを書いておいてね！

- 【A1】 ※ 質問の答えを書いてね！

メモ





豊川市消防署